

「衝撃のバンングラディッシュ・ツアー」 (2023・1・24)

読者のみなさまは、バンングラディッシュという国をご存知でしょうか？私は、今回のツアーに参加し、現地に到着するその瞬間まで、東南アジアの「ふつうの平和な国かな？」程度にしか思っていないませんでした。

日本の成田空港からシンガポールまで6時間のフライト、乗り継ぎでさらに5時間かかりました。ほぼ1日飛行機に乗っていた感じです。遠い!!!

インドの隣国にあり、北海道ほどの大きさの国土に、ナ、ナ、ナント！1億8000万人が住んでいます。ダッカ空港に降りたときに絶句しました。もしかして、相当ヤバイところに来てしまった。

「ダッカ空港」って、昔赤軍が日航機をハイジャックし、群馬県出身の福田元首相が「人の命は地球より重い」と名言を残した空港だよね!?

空港に到着したのは、現地時間の夜の9時過ぎ。そこからがさらにものすごい渋滞！渋滞！渋滞！。ホテルに着かない。それもそのはず、信号機がない！交通整理の警察もほほい。ドアのないバスや、タクシー、二人乗り、三人乗りのバイクや、電動自転車、もの凄い勢いで縦横無尽に走っている！危ない！危険！ヤバイ！

今回参加させていただいたツアーは、(株)ワタミグループ社長、渡邊美樹さんの非営利団体「スクーエイドジャパン(SAJ)」主催で、郁文館学

園の姉妹校としてバンクラディッシュに建設した中高一貫校の10周年記念ツアー」だった。

1日目は、ホテルから学校まで、舗装していない悪路の道、すれ違いもギリギリの道を約1時間かけて到着した。日本なら30キロくらいではないかと思うが、渋滞がひどいので予定通りには着くことは稀だ。

しかし、驚いたことに、学校の入り口に到着した途端に、「ものすごい!!!」歓迎を受けた。

それもそのはず、日本円にして日給300円のアジア最貧国といわれるバンングラディッシュは、多くの国民は富裕層意外はほとんどに教育すら受けることができない。

10年前に、そんなバンングラディッシュの片田舎に渡邊理事長が、東京の郁文館学園の海外姉妹校として、この学校を開設し、バンングラディッシュ最難関といわれるダッカ大学に進学する卒業生もいて、地元では「奇跡の学校」と呼ばれている。

日本のODAで渋滞緩和のために、日本の山の手線そっくりの地下鉄が最近完成し、僕も乗車したが、多くの国民が車内で記念撮影をされていて驚いた！日本でなかなか見ることができない光景だ。

さらに、ODAでダッカ空港の第三空港の巨大な拡張工事も行われている。日本のODAってこんなに世界の

も世界一安く、高額医療は政府が援助してくれる。こんなにしあわせな国でなぜ自殺者や精神を病む人が激増しているのか？

僕が思うに、「なんでも一人できる」＝「人から感謝される度合いは低い」だからかも知れない。

昔、日本で一番の個人投資家の竹田和平さんに、Podcastのインタビューをしたことがあった。その時に、和平さんが、「私は毎朝の太陽に向かって「ありがとう」を3000回唱えます。」と仰っていた。

そうすると、何かあってもすぐに「ありがとう」というようにクセになるそう。おかげで和平さんは、多くの経営者に投資し、応援し、日本一の個人投資家になられた。

バンングラディッシュの子供たちがあんなに明るいのには、「医師になりたい!」「会計士になりたい!」「パイロットになりたい!」「社長になりたい!」

お役に立っているのか!?「なんて素晴らしいことを日本政府やしているんだらう!」と感動さえた。学校の校門で我々日本人が大歓迎されている理由が分かるような気がした。なぜ、日本のメディアは、こんな素晴らしい日本政府の活動を報道しないのか不思議にさえ思った。

近所の村から歩きや電動バイクで集まったろう5000人以上もの人々が集まり、「奇跡の学校」の10周年記念式典が、バンングラディッシュの教育大臣も参加されて壮大な規模で行われた！渡邊理事長の歓迎ぶりから、多くの現地の生徒たちのまさに「希望の光」になっていることが良く分かる。

最終日にツアー参加者(大手企業の役員の方々、多くの支援団体の長の方々)が生徒たちの前で、一言づつ感想を述べた。イスラム教の休日の金曜日にかかわらず、ほぼ全生徒が参加していた。終わったあとに、なぜか皆サインを求められ、僕も何人もの生徒に日本語で訳のわからないサインをした。

日本人であるだけで、バンングラディッシュの生徒のみなさんにとっては、「希望の光」なのかも知れない、。帰国して、1ヶ月近くが経ち、大分胃の痛みも癒えてきたので、ツアーの感じたことを書いているのだけれど、「バンングラディッシュ国民のあのパワーは一体何なんだろう!?!」

翻って、この日本の物は豊かで、コンビニで何でも揃い、トタン屋根で、雨漏りする家に住んでいる人はほぼ

い!」「ケーキ屋になりたい!」などの夢に溢れているからだ。どんな仕事をしても、バンングラディッシュの国民に感謝されることは間違いない。

逆に日本では、インフラはほとんど整っているのも、もっと高度な仕事をしないと自分の夢が叶いにくく、「感謝される度合い」は極端に低いだらう。却って日本という国は「夢を持ちにくい国」になっていると言えるかも知れない。

Youtubeやアマゾンプライム、Instagramにツイッター、Netflixにニンテンド・スイッチ、ディズニールランドに、UFDなど。エンターテイメントがこれでもかというほどある。

「1万時間の法則」というものがある。勉強や運動、芸術などのような分野でも「1万時間」費やせばその分野の「プロ」のレベルになれると言う法

ゼロ。なのに、自殺者が3万人弱。引きこもり、虐待、SNSの迷惑投稿など、一体どちらがシアワセなんだろうとつい考えてしまう。

郁文館学園の生徒が、6月に僕も支援している両親のいないカンボジアの学校支援ツアーに参加するという。素晴らしい経験になること請け合いだ。バンングラディッシュやカンボジアにあつて、日本が失ってしまったものって一体何か？

僕が思うに、発展途上国では、「一人ですべていくのは無理だ」ということ。

コンビニは一軒も無い。スーパーも無ければ、ウーバーイーツも宅配も無い。スマホは、現地製の1万円をもつていても電気も時々切れるし、水栓トイレは珍しく、ウイシュレットは一度も見ることが無かった。トイレの紙も節約のために、半ロールしか置いていないので、紙がない時は水で洗うそう。水道水は絶対に飲んではいけないし、蚊にさされたらマラリアの危険もある。

無い無いだからからこそ、人と人が互いに助け合っていないと生きることはさえないのだ!

90近い老婆が渋滞の中、物乞いをしていたのを見かけたが、若い男性が何人もお金を恵んでいた!足の悪い障がい者が路肩に座敷を敷いて物乞のお皿には、これもまた「サツ!」をお金を投げ込む人が何人もいた。それを盗もうという人はいない。イスラム教の教えなのだろう。

則だ。

通常、勉強に集中するには、机の上には何も置かない方がいい。(スマホは置いておくだけで気が散るので成績が下がると言われている)

バンングラディッシュのやカンボジアの机の上には、今日学校で学んだ教科書とノート、数本の鉛筆と1個の消しゴムしかない。

「1万時間の法則」を成し遂げるには、物が溢れる日本よりも、逆にバンングラディッシュやカンボジアの環境の方が却って良いのかも知れない。

世界でも有数の恵まれた国に住んでいる日本人が、バンングラディッシュやカンボジアに行く意味はとて大きいと思った。

瑞岩寺 住職 長谷川俊道 合掌

小さい男の子が、市場で生きているニワトリを絞めて、首をチョン切り、肛門から内臓を取り出し、羽をむしり取って、血のしたたる鶏肉をビニール袋に入れて、平気な顔をして売っていた。(日本の中学生が見たら、きつと卒倒して倒れるか、小走りに逃げるだろう。)まさに、生の「いのちのやりとり」がこの国にはまだある!だから、動物の「いのち」を無駄にする人はほほい。生き物の「いのち」いただいている感覚が現実息づいてる。

日本語の「いただきます」という言葉は、「あなたのいのちを私のいのちに変えていただきます」という意味だ。日本では、それを先生が教えないと分らないが、ここでは学校で教える必要なんかない!この教育は衝撃的でリアルだ!

釈迦の教える、「しあわせの定義」は、簡単に言うと割り算だ。

しあわせ=感謝/煩惱。分母の煩惱をなるべく少なくして、足ることを知る。あれもこれも欲しい。自分の思うままにしたいと誰もが望むがそれには際限がない。どこまで行っても尽きることがない。今、ウクライナに戦争をしかけているどこかの大統領を見れば良くわかる。

逆に、日本ではだれでもが普通に水道水が飲めて、電気が日本中で使え、電気が消える経験をした国民は災害時以外には無い。車が無い家庭はめずらしく、コンビニやファーストフード店に行けばいつでも、どこでも、だれでも自由に食事ができる。健康保険料

新本堂建立にご寄進を表明いただき 心より御礼申し上げます

長島 博文	四万円	江原 一	六〇万円	堀越 正剛	二万円	長島 一由	二万円	長島 麻登利	四万円	鈴木 秀夫	一〇万円	茂木 宏一	二万円
金井 裕一	六〇万円	松島 純	二二五万円	岡田 裕司	二万円	長谷川 桂子	二万円	岡田 正一	六〇万円	岡田 正一	三万円	山口 久夫	二万円
堀越 雅博	二万円	堀越 孝夫	六〇万円	関口 孝夫	二万円	鈴木 雅夫	二万円	尾林 大介	六〇万円	岡田 正一	九万円	田島 一雄	二万円
田島 一雄	二万円	関口 実	五万円	岡田 和浩	六〇万円	木暮 昌弘	二万円	坂本 隆次	二万円	鈴木 寛治	六〇万円	松島 正明	二万円
水岡 唯宏	二万円	小堀 直人	二万円	濱野 保夫	六〇万円	山口 一夫	二万円	瀧澤 育江	二万円	長島 彰	六〇万円	猪熊 照義	二万円
金澤 孝一	二万円	田島 晃子	六万円	渡辺 繁	六万円	小堀 洋子	六〇万円	小森 幸史	四〇万円	堀崎 純一	二万円	渡辺隆盛堂	一〇万円
鈴木 登一	二万円	河田 久平	二万円	大塚 幸夫	六〇万円	岡田 真一	二万円	岡田 雅美	二万円	田村 雅美	二万円	テラコシヤヤコ	一万円
園田 泰之	二万円	長島 茂雄	六〇万円	林 百合子	二万円	添野 和男	五〇万円	茂木 宏行	二万円	板橋 邦子	二万円	フサワタニシ	二万円
松島 功	二万円	前川 和之	二万円	青木 アヤ子	二万円	穴原 政美	三〇万円	林 和男	二万円	青木 純香	四八万円	桑田 裕司	一〇万円
遠坂 孝行	二万円	岡安 正裕	二万円	鈴木 幸子	六〇万円	大塚 純一	六万円	中川 恵子	二万円	長島 一夫	二万円		
鹿山 武義	二万円	塚本 トミエ	二万円	小堀 隆志	三万円	大塚 昇	三〇万円	尾内 寛子	二万円	小関 勲	一〇〇万円		
星野 俊夫	八万円	金子 一幸	二万円	長谷川 正道	五万円	大塚 芳巳	三〇〇万円	松島 孝明	四〇万円	恩田 正臣	二万円		
後藤 清美	二万円	永井 敏明	六〇万円	岡田 利仁	二万円	武井 トミ子	二〇万円	林 順一	二万円	山口 幸彦	二万円		
長郷 稔	二万円	小堀 雅一	二万円	大塚 隆	二万円	佐藤 麻佐典	二万円	五十木 健	二万円	園田 稔	二万円		

※令和五年六月三十日までの御寄付(喜捨)を掲載しております。
※令和五年六月三十日時点の御寄付(喜捨)表明金額 九三、九二六、〇〇〇円

計 八一、九〇九、〇〇〇万円
(檀信徒込み)

園の姉妹校としてバンクラディッシュに建設した中高一貫校の10周年記念ツアー」だった。

1日目は、ホテルから学校まで、舗装していない悪路の道、すれ違いもギリギリの道を約1時間かけて到着した。日本なら30キロくらいではないかと思うが、渋滞がひどいので予定通りには着くことは稀だ。

お役に立っているのか!?「なんて素晴らしいことを日本政府やしているんだらう!」と感動さえた。学校の校門で我々日本人が大歓迎されている理由が分かるような気がした。なぜ、日本のメディアは、こんな素晴らしい日本政府の活動を報道しないのか不思議にさえ思った。

ゼロ。なのに、自殺者が3万人弱。引きこもり、虐待、SNSの迷惑投稿など、一体どちらがシアワセなんだろうとつい考えてしまう。